

## 協議事項

### ①秋田県の精度管理評価指導基準及び改善指導について

#### 資料 2

【資料 2－1】	秋田県の精度管理評価基準及び改善指導について	P. 1～2
【資料 2－1 別紙】	令和 5 年度子宮頸がん検診精度管理調査結果及び改善に向けた取組	P. 3～8
【資料 2－2】	令和 6 年度秋田県の子宮頸がん検診精度管理評価（案）	P. 9
【資料 2－2 別紙 1】	（市町村） 子宮頸がん検診の技術・体制的指標、プロセス指標数値	P. 10～12
【資料 2－2 別紙 2】	（事業団・厚生連） 子宮頸がん検診の技術・体制的指標、プロセス指標数値	P. 13～14

## 秋田県の精度管理評価基準及び改善指導について

### 【概要】

#### 1 精度管理の根拠

「がん検診事業のあり方について」及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」において、「技術・体制的指標（事業評価のためのチェックリスト）」等により実施状況を把握するとともに、「プロセス指標」に基づく評価を行うことが不可欠とされている。

#### 2 精度管理の指標

がん検診の事業評価として、一義的にはアウトカム指標としての死亡率により行われるべきであるが、死亡率減少効果が現れるまでに相当の時間を要すること等から、「技術・体制的指標（事業評価のためのチェックリスト）」と「プロセス指標（がん検診受診率、要精検率、精検受診率、陽性反応適中度、がん発見率）」による評価を徹底することが適当である。

#### 3 子宮がん部会における取り扱い

平成 28 年度から、国立がん研究センターが示す精度管理評価の手順を参考に、評価のフィードバックのための指導基準を設け、文書による改善・指導を行うこととしている。

#### 4 令和 5 年度子宮頸がん検診精度管理調査結果及び改善に向けた取組（報告）

別添資料 2－1 別紙「令和 5 年度子宮頸がん検診精度管理調査結果」及び「令和 5 年度調査結果に基づく改善に向けた取組について」参照。

令和 5 年度において調査を行った市町村及び検診機関に対し、自施設の結果を個別に通知した。また、指導対象となった市町村及び検診機関に対しては改善指導をしている。

なお、調査結果は県ウェブサイトに掲載している。

## 【協議事項】

### 1 令和6年度の精度管理評価基準（案）

別添資料2－2「令和6年度秋田県の子宮頸がん検診精度管理評価（案）」参照。

### 2 評価結果の通知及び公表※について（案）

市町村、検診機関名の公表については、「市町村は「公」であり、「公」から検診事業を委託された検診機関の「委託された検診事業そのものの評価」を公表するものである」という考え方が国立がん研究センターから示されていることから、令和6年度の評価結果について県ウェブサイトに掲載する。

※平成30年度から、精度管理調査の対象に市町村が検診を委託する個別医療機関のうち「病院」を追加している。また、令和5年度からは能代市保健センターを追加している。これらの検診機関については、精度管理の体制がまだ整っていないことが予想されるため、当面の間は調査並びに部会及び市町村への調査結果報告を行い、改善指導と結果公表は一定期間を経ってから行う（乳がん部会を除く）。

### 3 令和7年度の調査について（案）

引き続き、市町村、検診機関（秋田県総合保健事業団、秋田県厚生農業協同組合連合会の実施病院、その他病院、能代市保健センター）に対し調査協力を依頼する。

## 令和5年度子宮頸がん検診精度管理調査結果

### 【調査の目的】

がん検診においては、精度管理を適切に行わなければ効果は得られないため、がん検診の精度管理はきわめて重要です。この調査は、秋田県健康づくり審議会がん対策分科会子宮がん部会が、秋田県で子宮頸がん検診を行っている市町村、検診機関に対し、精度管理が適切に行われているかどうかを知る目的で行ったものです。なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

### 【調査の対象】

この調査は、子宮頸がん検診を行っている市町村、検診を受託している秋田県総合保健事業団と秋田県厚生農業協同組合連合会の実施病院を対象として行いました。

### 【調査の種類】

調査は「1. がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査（○×回答）」と「2. 精度管理指標値の調査」の2種類を実施しました。

各調査については、次ページ以降を御覧ください。

## 1 がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査

### 【調査内容】

がん検診で整備すべき体制については、平成 20 年 3 月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、市町村用チェックリスト、検診機関用チェックリストとして整理されています。今回の調査は、令和 5 年 8 月時点で最新のチェックリストを利用し、令和 5 年度検診についてその遵守状況を調査したものです。

### 【評価基準】

#### ①市町村

非遵守項目（×）の数により、A0、B1-8、C9-16、D17-24、E25-32、F33 以上、Z 無回答の 7 段階に評価し、C 以下の市町村には、非遵守項目の減少に向けて、改善をお願いしました。

ただし、本調査を受けて、すでに改善を行っている市町村もあります。

◇C 以下の市町村

- ・ 集団検診

なし

- ・ 個別検診

能代市、大仙市、藤里町、八郎潟町

#### ②検診機関

非遵守項目（×）の数により、A0、B1-6、C7-12、D13 以上、Z 無回答の 5 段階に評価したところ、全ての検診機関において遵守項目を満たしていました。

◇B 以下の検診機関

なし

## 2 精度管理指標値の調査

### 【調査内容】

市町村に対しては、がん検診受診率、要精検率、精検受診率、陽性反応適中度、がん発見率の5種類について、検診機関に対してはがん検診受診率を除く4種類について調査しました。

### 【評価基準】

秋田県の評価基準は「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値と同じです。特に、精検受診率は、精度評価の最も重要な指標と位置づけられており、許容値を下回る90%未満の市町村、検診機関には、その理由の調査と報告をお願いしました。

#### ○ 精検受診率（市町村）

令和3年度に行った子宮頸がん検診の精検受診率（算定対象年齢：20～69歳）

子宮頸がん	要精検者 (A)人	精検受診者数 (B)人	精検受診率 (B/A)%
秋田市	149	140	94.0
能代市	1	1	100.0
横手市	38	26	68.4
大館市	13	13	100.0
男鹿市	5	5	100.0
湯沢市	18	12	66.7
鹿角市	8	8	100.0
由利本荘市	15	13	86.7
潟上市	18	15	83.3
大仙市	31	31	100.0
北秋田市	46	41	89.1
にかほ市	3	2	66.7
仙北市	11	8	72.7
小坂町	1	1	100.0
上小阿仁村	0	0	
藤里町	0	0	
三種町	10	10	100.0
八峰町	16	14	87.5
五城目町	5	5	100.0
八郎潟町	4	4	100.0
井川町	2	2	100.0
大潟村	2	2	100.0
美郷町	11	11	100.0
羽後町	5	4	80.0
東成瀬村	0	0	
合計	412	368	89.3

（出典：地域保健・健康増進事業報告）

○ 精検受診率（検診機関）

令和３年度に行った子宮頸がん検診の精検受診率

検診種別 検診機関名	胃がん 検 診 (胃部エック ス線検査)	大腸がん 検 診	肺がん 検 診	子宮頸がん 検 診	乳がん 検 診
秋田県総合保健事業団	84.7%	73.5%	86.5%	90.2%	88.8%
かづの厚生病院	実績なし	実績なし	実績なし	100.0%	94.7%
能代厚生医療センター	71.2%	56.8%	80.1%	81.1%	81.7%
北秋田市民病院	100.0%	実績なし	実績なし	100.0%	100.0%
秋田厚生医療センター	実績なし	実績なし	実績なし	100.0%	100.0%
由利組合総合病院	83.9%	67.2%	実績なし	100.0%	90.6%
大曲厚生医療センター	実績なし	実績なし	実績なし	100.0%	100.0%
平鹿総合病院	88.7%	73.7%	90.0%	66.7%	90.9%
雄勝中央病院	実績なし	実績なし	実績なし	100.0%	100.0%

(出典：各検診機関から精検受診率報告・健康づくり推進課まとめ)

(注)精検受診率は、精検対象者数が多い、少ない等による影響があるほか、年度によって大きく変動することがあります。

また、複数回、受診勧奨をしている場合でも結果として精密検査を受けていない場合もあります。

子宮頸がん検診

精検受診率が90%未満である市町村に対し、改善指導文書を送付し、受診率が基準に満たなかった理由及び改善に向けた対策・取組について報告を求め、市町村からの回答結果は以下のとおりである。

市町村名	精検受診率（％）	精検受診率が90%未満であった理由	改善に向けた対策取組
秋田市	94.0%		
能代市	100.0%		
横手市	68.4%	20代～30代の未受診者からは「結果が怖い」との声が聞かれ、知識不足から精密検査の必要性を理解していないことが伺えた。また、R3はコロナ禍のため医療機関受診を控えたために精検未受診となったことも考えられる。	精密検査受診状況は、年度内に2回(11月と2月)、検診機関より情報提供を受け未受診者に対し通知や電話にて受診勧奨を実施している。受診状況把握時に不足の情報があった際には市から医療機関に問い合わせをし、更なる把握に努めている。今後も毎年会議の場等で市のがん精検受診状況報告をし、検診機関や精検実施医療機関と情報共有を重ね、受診状況が確実に報告されるよう連携していく。 また、精密検査対象者に対しては、正しい知識の普及と不安の軽減により確実に精密検査を受診できるように保健指導を継続していく。
大館市	100.0%		
男鹿市	100.0%		
湯沢市	66.7% → 100.0%	市及び委託先の集計方法の誤りが原因で受診率を修正。	報告内容の確認を徹底する。
鹿角市	100.0%		
由利本荘市	86.7%	前年度も精密検査になり検査をしたが異常が無かった、自覚症状が無い、忙しい等がある	・検診機関への精検受診状況照会時期の見直し(R3年度～) 人間ドック受診者:当該年度10月、翌年度5月・3月 集団検診受診者:当該年度10月・2月、翌年度5月 ・電話による受診勧奨を行い、電話がつながらなかった方へ受診勧奨通知を発送。その際、精密検査の受診状況を把握するための返信用ハガキを同封(R3年度～)
潟上市	83.3%	・「前年度(R2)も精密検査の対象となり受診したが、異常なしだったので今年度(R3)は受診しない」という方がいたため。 ・「精密検査は受診せず、次年度(R4)の検診を待つ」という方がいたため。	次年度(R4)の精密検査受診勧奨通知において、がんの早期発見及び早期治療が大切であることを明記し、周知を行った。
大仙市	100.0%		
北秋田市	89.1%	例年精密検査未受診者の方に対して、2月末に再勧奨の通知文書を送付している。しかし、通知後に、電話等による受診の確認や積極的な受診勧奨が出来ておらず、受診率が伸びなやんだ原因と考えられる。また、受診をしているが、医療機関からの連絡が市に来ていない例もあり、医療機関との連携不足も原因と考える。	個別通知での受診勧奨の他に、電話で直接本人と連絡をとり状況把握を行う。また、精密検査を受けていない方に関しては、受けない理由について伺い、内容も把握する。医療機関に関しては、市への連絡を徹底できるよう調整を図っていく。
にかほ市	66.7%	個別検診の精査対象者の受診率が低い。(集団検診受診者100%、個別検診受診者0%)	当該年度末に、受診勧奨(個人通知または電話)を実施。一次検診案内に、精密検査受診の重要性を明記し通知。個別検診機関からの精検結果の共有について改めて確認し合う。
仙北市	72.7%	令和2年度はコロナ禍で、精検受診率は40%であった。 令和3年度の精検受診率が72.7%。 令和3年度もコロナ禍であり、がん検診は受診するが、精密検査に行かなかった人がいたのではないかと考える。(行かなかった本当の理由までは不明。) また未受診者のがん検診の受診状況をみると、令和3年度に精密検査に該当した方が、令和4年度のがん検診は「異常なし」という結果の方がいた。そのため、精密検査を受診しなかったのではないかと推測している。	、精検対象者に対して、受診結果と合わせた受診勧奨と、検診を受診した年の3月に電話での受診勧奨と、次年度の3月は精検受診の勧奨通知を出している。 令和6年度からは3月だけではなく、6月と12月に精密検査未受診者をリストアップし、職員で電話による受診勧奨を実施。連絡が付かない場合は勧奨通知を発送する予定。
小坂町	100.0%		
上小阿仁村	－		
藤里町	－		
三種町	100.0%		
八峰町	87.5%	精密検査受診状況を返信ハガキ及び検診委託医療機関からの情報で確認し、未受診者へは文書等による受診勧奨を実施。しかし、その後も未受診が続く者への訪問等による勧奨ができなかったことで受診に繋がらなかった。	精検対象者には、早い段階から受診勧奨(文書・電話)を行う。また、精密検査受診状況について検診委託医療機関と定期的な情報共有を図る。
五城目町	100.0%		
八郎潟町	100.0%		
井川町	100.0%		
大潟村	100.0%		
美郷町	100.0%		
羽後町	80.0%	症状がない、自分は大丈夫という過信、病気に対する恐怖を感じていない、かかりつけ病院がない等の理由から受診しないのではと考えられる。	精密検査未受診の者へは、継続的に受診勧奨し、精密検査の必要性和重要性を理解してもらえるよう取組む。また、検診に対する意識向上を図るため、検診に関する情報を定期的に発信し周知する。
東成瀬村	－		



子宮頸がん検診

精検受診率が90%未満である検診機関に対し、改善指導文書を送付し、受診率が基準に満たなかった理由及び改善に向けた対策・取組について報告を求め、検診機関からの回答結果は以下のとおりである。

検診機関名	精検受診率(%)	精検受診率が70%未満であった理由	改善に向けた対策取組
秋田県総合保健事業団	90.2%		
かづの厚生病院	100.0%		
能代厚生医療センター	81.1%	子宮頸部精検の方は、年齢が若い方が多いため、仕事の調整が難しい可能性がある。	①現在、精検依頼書を郵送する際に、能代山本圏内の医療機関の一覧表を同封して、医療機関を受診しやすくしている。②精検未受診者に対し、年2回に分けて、受診勧奨の手紙を郵送している。③受診した医療機関からの結果を返信してもらうシステムになっているが、漏れている場合があるため、精検受診勧奨時に、すでに受診している方から、電話で報告を受け把握出来るようにしている。④子宮頸部の細胞診で精査になった方には、確実に受診に繋がるように、電話での受診勧奨を実施している。
北秋田市民病院	100.0%		
秋田厚生医療センター	100.0%		
由利組合総合病院	100.0%		
大曲厚生医療センター	100.0%		
平鹿総合病院	66.7%	R3年度は直接塗抹法から液状化検体法に完全移行になった年で要精検率が増加(約3倍)しました。要精検率増加が精検受診率低下の要因の1つであると思います。	年2回市町村へ精検受診者の報告をしています。迅速に情報提供をおこない、スムーズな受診勧奨につなげていきます。精検受診病院(医院)から日付や病名の記載漏れがあると確認に時間がかかるため、記入漏れをなくしていただきたいです。
雄勝中央病院	100.0%		

## 令和 6 年度秋田県の子宮頸がん検診精度管理評価（案）

## 1 市町村 【資料 2-2 別紙 1】

## ①市町村チェックリストの遵守状況

A/B/C/D/E/F/Z の 7 段階に評価した結果、評価分布は次のとおりである。

検診種別	実施 市町村数	評価分布(市町村数)						
		A	B	C	D	E	F	Z
集団検診	25(24)	12(6)	13(18)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
個別検診	24(24)	10(4)	11(16)	3(4)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

事務局案

令和 6 年度の秋田県

が指導する対象は、

【 C 】以下とする。

未実施項目（×）の数で評価。Aが×の数0、B1～8、C9～16、D17～24、E25～32、F33以上、Z無回答。

（ ）内は令和 5 年度最終実績

## ②精検受診率の評価について

「精検受診率が 90 % 未満である市町村」に対し、その原因と改善方法を報告するよう指導する。

（参考）精検受診率（速報値）

実施 市町村数	90%～	90%未満	要精検者なし
25(25)	16(13)	8(9)	1(3)

（ ）内は令和 3 年度実績

## 2 検診機関 【資料 2-2 別紙 2】

## ①検診機関チェックリストの遵守状況

A/B/C/D/Z の 5 段階に評価した結果、評価分布は次のとおりである。

検診種別	検診機関 数	評価分布（検診機関数）				
		A	B	C	D	Z
集団検診	3(3)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
個別検診	7(6)	7(6)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

事務局案

令和 6 年度の秋田県

が指導する対象は、

【 B 】以下とする。

未実施項目（×）の数で評価。Aが×の数0、B1～6、C7～12、D13以上、Z無回答。

（ ）内は令和 5 年度最終実績

## ②精検受診率の評価について

「精検受診率が 90 % 未満である検診機関」に対し、その原因を報告するよう指導するとともに、委託元市町村との連携した改善を依頼する。

（参考）精検受診率

検診機関 数	90%～	90%未満	要精検者なし
9(9)	3(7)	5(2)	1(0))

（ ）内は令和 3 年度実績







# プロセス指標一覧(市町村別)【子宮頸】

要改善

(単位: %)

	要精検率		精検受診率		がん発見率		陽性反応適中度	
	基準値: 2.7%以下		基準値: 90%以上		基準値: 0.16%以上		基準値: 5.9%以上	
市町村名	R4(速報)	R3	R4(速報)	R3	R4(速報)	R3	R4(速報)	R3
秋田市	2.4%	2.7%	92.2%	94.0%	0.21%	0.23%	8.59%	8.72%
能代市	1.2%	0.1%	78.9%	100.0%	0.37%	0.00%	31.58%	0.00%
横手市	1.7%	1.5%	91.9%	68.4%	0.23%	0.04%	13.51%	2.63%
大館市	1.7%	1.5%	95.0%	100.0%	0.26%	0.11%	15.00%	7.69%
男鹿市	1.6%	1.6%	60.0%	100.0%	0.32%	0.63%	20.00%	40.00%
湯沢市	2.5%	1.9%	96.0%	66.7%	0.10%	0.11%	4.00%	5.56%
鹿角市	2.3%	1.7%	100.0%	100.0%	0.45%	0.00%	20.00%	0.00%
由利本荘市	4.9%	2.0%	85.3%	86.7%	0.14%	0.13%	2.94%	6.67%
潟上市	2.2%	2.8%	68.8%	83.3%	0.00%	0.15%	0.00%	5.56%
大仙市	2.3%	2.1%	91.7%	100.0%	0.32%	0.14%	13.89%	6.45%
北秋田市	1.6%	11.5%	100.0%	89.1%	0.00%	0.25%	0.00%	2.17%
にかほ市	0.9%	0.7%	100.0%	66.7%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
仙北市	0.4%	3.6%	100.0%	72.7%	0.00%	0.33%	0.00%	9.09%
小坂町	3.3%	1.0%	100.0%	100.0%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
上小阿仁村	0.0%	0.0%	—	—	0.00%	—	—	—
藤里町	0.7%	0.0%	0.0%	—	0.00%	—	0.00%	—
三種町	1.0%	1.6%	83.3%	100.0%	0.00%	0.65%	0.00%	40.00%
八峰町	1.5%	4.5%	100.0%	87.5%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
五城目町	1.5%	1.9%	100.0%	100.0%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
八郎潟町	0.9%	1.7%	100.0%	100.0%	0.47%	0.00%	50.00%	0.00%
井川町	1.9%	1.3%	100.0%	100.0%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
大潟村	0.5%	1.0%	0.0%	100.0%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
美郷町	1.2%	1.7%	85.7%	100.0%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
羽後町	0.4%	2.0%	100.0%	80.0%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
東成瀬村	3.1%	0.0%	100.0%	—	1.56%	—	50.00%	—
秋田県計	2.0%	2.1%	89.8%	89.3%	0.20%	0.14%	9.92%	6.80%

出典: (R4)健康づくり推進課調べ R6.11時点

(R3)地域保健・健康増進事業報告

※算定対象年齢: 20~69歳

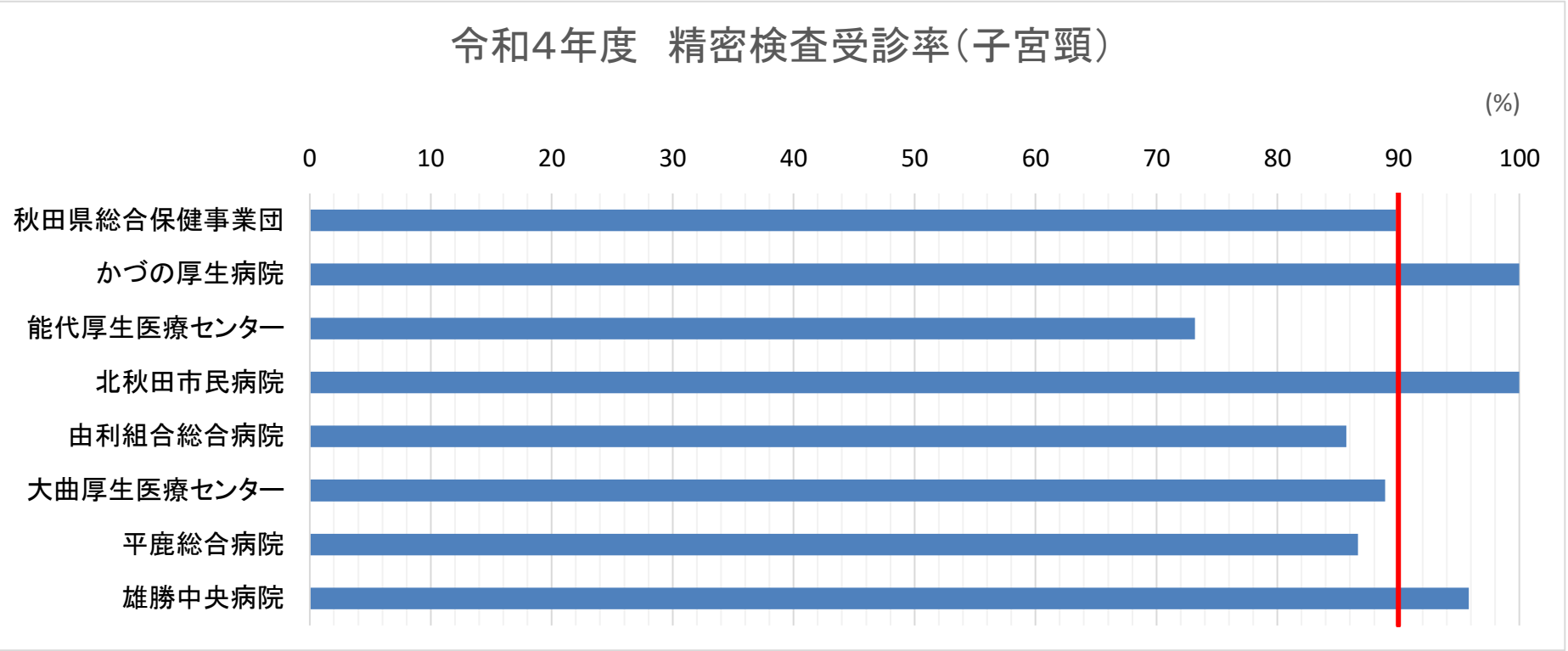
※要精密検査者がゼロ人の場合、要精検率を0.0%、その他の指標を“-”で表記している。

※基準値は「がん検診事業のあり方について」(令和5年6月厚生労働省がん検診のあり方に関する検討会)を基にしている。



対象年齢:20歳～69歳

		1次検診 受診者数	要精密 検査者数	要精密検査 率	精密検査 受診者数	精密検査 受診率	精密検査結 果 「がん」	がん発見率	陽性反応 適中度
		(A)	(B)	(B)/(A)	(C)	(C)/(B)	(D)	(D)/(A)	(D)/(B)
1	秋田県総合保健事業団	13,564	255	1.9	229	89.8	32	0.24	12.55
2	かつの厚生病院	604	11	1.8	11	100.0	0	0.00	0.00
3	能代厚生医療センター	914	82	9.0	60	73.2	0	0.00	0.00
4	北秋田市民病院	67	1	1.5	1	100.0	0	0.00	0.00
5	秋田厚生医療センター	104	0	0.0	－	－	－	－	－
6	由利組合総合病院	302	7	2.3	6	85.7	1	0.66	28.57
7	大曲厚生医療センター	128	9	7.0	8	88.9	0	0.00	0.00
8	平鹿総合病院	434	15	3.5	13	86.7	1	0.69	20.00
9	雄勝中央病院	1,001	24	2.4	23	95.8	1	0.10	4.17
合計		17,118	404	2.4	351	86.9	35	0.20	8.66



(出典:秋田県健康づくり推進課調べ)